

## 献 辞

田尾雅夫先生は、定年退官まで1年を残して愛知学院大学に移られるために、2008年3月をもって本学を退官されることとなります。

田尾先生は、1975年に京都大学大学院文学研究科博士課程（心理学専攻）を単位取得退学された後、同年に京都府立大学文学部に専任講師となられて、同大学助教授を経て、1993年に本学経済学部助教授に転任し、翌年教授に昇進されました。そして市場・会計分析講座「経営組織論」担当教授となり、本研究科の教育・研究に尽力されておりました。2006年4月からは京都大学公共政策大学院教授として2008年3月まで、新専門職大学院の創設に当たり、行政組織論の教育・研究に尽力されました。その間、数多くの学生・院生の教育に当たり、優秀な人材を輩出されております。

田尾先生の研究分野は多岐にわたっておりますが、その代表分野は行政組織・公共部門組織の組織論であります。田尾先生は、行政サービス組織の持つ組織の特性とその独自のメカニズム（モチベーション、組織文化、態度、リーダーシップなど）についての研究での造詣が深く、特に地方自治体での行政サービス組織の組織論という日本でも独自の研究領域で長年、高い成果を上げられました。1990年には、代表作『行政サービスの組織と管理』では、日経・経済図書文化賞、組織学会高宮賞を受賞されました。当初は、組織の社会心理学から、組織論の研究領域に入られて、モチベーション、ストレス、組織文化、コンフリクトなどの代表的なマイクロ組織論の研究領域に幅広い業績を残されながら、プロフェッショナル研究、行政組織論、コンピュータ化の影響、「会社人間研究」、非営利組織論、起業家論そして近年の高齢化と行政サービス、組織の関連など、その時々の組織論の最先端のテーマをリードする研究を行っております。そしてその成果は、38冊の著書と76本の単著論文、28本の書籍分担執筆という形で現れております。その論文は、『心理学研究』、『社会心理学研

究』、『産業・組織心理学研究』、『組織科学』、『経済論叢』、『日本労働研究雑誌』という心理学、組織論、経済、労働の幅広いジャンルの研究雑誌に見ることができます。また、その高い研究実績ゆえに、地方自治研究資料センター、日本労働研究機構、大阪地方自治センターなどの機関との共同研究も数多く行っております。

田尾先生は、長年にわたり、社会心理学会、産業・組織心理学会、組織学会、日本 NPO 学会において、幹事、理事を務められており、学会活動においても多くの貢献もしております。さらに社会的な貢献も多くなされています。政府においても、国民生活審議会及び大学設置・学校法人審議会、公認会計士試験委員などの諸委員も歴任しております。また、地方自治体の研究は、学術的なものにとどまらず、京都府、京都市などをはじめとした地方自治体及びその関連団体において、京都府組織のあり方検討委員会、京都市基本構想等委員会、高知市人事アドバイザーなどのような各種委員会で委員を務めており、多くの実践的な地域貢献をしております。

京都大学経済学会は、こうした先生の多年にわたるご功勞に対する敬意と感謝の気持ちを込めて、『経済論叢』の本号を記念号として編集致しました。先生とゆかりのある方々から寄せられた論文を編んで、本号を先生にお贈りできますことは、私どものこの上ない慶びとするところであります。

先生が今後ともますますご健康で、学会のため、広く社会のために、ご活躍なさいますことを心から祈念致します。

2008年1月1日

京都大学大学院経済学研究科長 森 棟 公 夫